

## 「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～中学校音楽科～

第2学年題材名 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して表現を工夫しよう(第1/3時)

教材曲 『夏の思い出』『荒城の月』『サンタルチア』

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素:「音色」「リズム」「速度」「旋律」「強弱」「形式」)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

音色、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、『夏の思い出』にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。

(思考力、判断力、表現力等)

### こんな授業になっていませんか？

#### 【教師の発問】



『夏の思い出』を通して歌えるようになりましたね。次は、グループごとに歌い方を工夫しましょう。

歌詞の内容を理解させ、楽譜のとおり  
に歌わせることができた。次は、グループ  
で表現を工夫させればよいな。

#### 【生徒の反応】

もっと大きな声  
で歌えばいいの  
かな。

正しく歌えたのに、  
何を工夫すればいい  
のかしら？



歌唱や器楽の学習において、知識や技能を習得することに重点を置いてから創意工夫させるといった指導になってしまい生徒が主体的に取り組めません。また、何をよりどころとして歌い方を工夫するとよいのか、見通しがもてていません。これでは、本時のねらいに迫る授業になりません。

### 「見方・考え方」を働かせる意識をプラス！

#### 「音楽的な見方・考え方」とは

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。

#### \*【共通事項】ア

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。

#### 『音楽を形づくっている要素』

音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成 など

#### 生徒が「見方・考え方」を働かせるためには

生徒が音や音楽に意識を向けられるように効果的な手立てを講じることが重要です。

音楽科は、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する教科です。音楽に対する感性は、音や音楽の美しさを感じ取るときの心の動きであり、音楽の学習における最も本質的な部分です。生徒が音や音楽に意識を向けられるように効果的に場面設定や発問などの手立てを講じることが重要です。

生徒が音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えることとは、知覚したことを感受によって意味付けたり、感受したことを知覚によって根拠付けたりすることです。そのためには、[共通事項]ア\*の学習が支えになります。知覚と感受によって捉えた音楽を自分が思い描いたイメージや心にわき上がった感情などと関わらせたり、自分を取り巻く生活や社会、あるいは伝統と文化などと結び付けて曲を味わったりする活動が重要になります。教師は、題材全体を通してどの要素を思考・判断のよりどころとして生徒に学習させるのかを明確にした上で、題材を構成することが大切です。

#### 授業を こう変える！

- ・「なぜ強弱記号が多いのか」と思考を促す発問をすることで、生徒が、音楽を形づくっている要素に着目して、曲想と歌詞の内容との関わりを考えられるようにする。…**[1]**
- ・強弱記号の違いによる感じ方を比べる活動を取り入れることで、音楽を形づくっている要素に着目させ、より実感を伴って音や音楽を感じ取ることができるようにする。…**[2]**
- ・「どのように表現したいか」について考える場面を設定することで、生徒が音楽の美しさを感じ取り、音楽表現を工夫するための思いや意図をもち、言語で表現することができるようにする。…**[3]**

## このような授業にしていきましょう！

### 【音楽を形づくっている要素（本時「強弱」）に着目させるための発問】…1

『夏の思い出』を一度歌ってみてどうでしたか。



ゆっくりとしていて  
落ち着いた曲だった。



優しい感じだった。  
強弱記号がたくさん付  
いていたな。



いろいろと感じたり気付いたりしましたね。この曲に強弱記号が多  
く記されていることによく気付きましたね。なぜ多いのでしょうか？

歌詞に関係があると  
思う。



そうですね。歌詞の内容によ  
って、強いが弱い記さ  
れていると思うわ。



#### 〈生徒の姿〉

『夏の思い出』は強弱記号が  
多く示されている楽曲です。そ  
れを「なぜ多いのか」と問い掛  
けることで、強弱と歌詞の内容  
に関わりがあることに気づき、  
歌詞の内容を理解することが  
必要であることを感じていま  
す。

### 【実感を伴って感じ取らせるための場面設定の工夫】…2

すばらしい。「歌詞の内容」と「強弱」には、関わりがありそうですね。



「水芭蕉の花が咲いている」の「咲いている」のところは、どのように歌いますか。  
グループで強弱を確認して、音を確かめながら考えてみましょう。

「やや弱く」から「か  
なり弱く」にするこ  
とよ。mpからpp  
にした場合とそうで  
ない場合で歌って比  
べてみましょうよ。

ppにしないでmpの  
まま歌ったら「咲い  
ている」の言葉がさ  
らっと流れてしまっ  
たね。

ppにした方が、水  
芭蕉の花が静かに  
咲いている姿が想  
像できる歌い方  
になるね。

mpからppに  
なっているね。  
どのように歌う  
ことなのかな。



#### 〈生徒の姿〉

mpからppにした場合とそ  
うでない場合と、音を比べて  
確かめながら考える活動をする  
ことで、実感を伴いながら  
強弱の働きが生み出す雰囲気  
を感受し、歌詞との関わり  
について考えています。

また、小学校で習得した知  
識が、表現を工夫する活動や  
対話を通して、創意工夫に必  
要な知識として更新されてい  
ます。

### 【思いや意図を明確にするための学習活動の工夫】…3

実際に歌って試すことで、歌詞の内容と強弱を関わらせた表現の違い  
を感じ取ることができましたね。



最後の「はるかな尾瀬 遠い空」は、どのように歌いたいですか？  
今度は自分の考えをワークシートに書いてから、音で試しましょう。

1番の最後のところだし、mfは  
「やや大きく」だから、尾瀬が広く  
遠くまで続く様子を伝えたいな。



尾瀬を懐かしむ思いがクレッシェ  
ンドで表されていると思う。ここ  
で一気に表現したいわ。



#### 〈生徒の姿〉

「どのように歌いたいか」  
と問い掛けることにより、一  
人一人の思いや意図を明確に  
しています。これまでの活動  
を生かして、表現の工夫につ  
いて言語で根拠付けることが  
できています。

## ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

### 題材の振り返りをする場面で

今までの学習を振り返って、ずっと歌い継がれてきた『夏の思い出』のよさを考えましょう。



尾瀬の広々とした美しさや水芭蕉が咲いている様子が、語りか  
けるような言葉で表現されていて、強弱により更に気持ちを込  
めて歌うことができます。それが、この曲のよさだと思います。  
だから、今でも歌い継がれているのだと思います。



#### 〈生徒の姿〉

音楽表現を通して、自分が捉  
えた楽曲のよさを改めて振り  
返ることにより、音楽を生活や  
社会に関連付けています。